2008～2009年度　IM第2組報告

主　　　　催：RI第2660地区　横山守雄G、IM第2組　川西靖裕G補佐
ホストクラブ：茨木西RC
日　　　　時：2009年2月28日（土）14：10～16：40
場　　　　所：ホテル阪急エキスポパーク
参加クラブ：茨木、茨木東、千里、千里メイプル、摂津、吹田
吹田西、吹田江坂、高槻、高槻東、高槻西、茨木西　　計12RC
第2組登録数：489名
当日出席者数：239名（来賓20名）
当日来客数：113名

IM第2組実行委員会
委員長　大森　保子
（茨木西RC）

プログラム

発　表　高校生の夢を聞く
「カンボジアでの出会い」　梅花高校　小林明日香さん　京極千尋さん
「夢からユメの架け橋」　関西大倉高校　荻田航希さん　牧遼明さん
講　演「現代の忘れ物」　ノートルダム清心学園理事長　渡辺和子名誉学長

本年度IMは、RI会長メッセージ「素晴らしい世界を後世に残す為、最も若い世代に焦点を当てよう」を基本テーマに第一部は、高校生の奉仕活動、そして夢を発表して頂きました。梅花高校の女生徒である小林明日香さん、京極千尋さんは、カンボジアでの地雷撤去への資金協力と地雷被害児との交流について発表。RCに匹敵する活動に驚きと感動を受けました。関西大倉高校の荻田航希さん、牧遼明さんは、ロータリアンにとっては得体の知れない新人類の高校生が小学生から高校生までの夢について発表。将来の設計「夢」が堅実であることに安心感を覚えました。

渡辺和子名誉学長は、「現代の忘れ物」のなかで奉仕活動について、マザーテレサのお話を引用。ノートルダム清心学園の学生たちがカルカッタでの奉仕活動をマザーテレサに提案した時、「日本からの多額の旅費をかけてインドで奉仕活動することも大切ではあるが、足下のカルカッタ、即ち貴方たちの足下で、困っている人々はいませんか？先ずそこで実践してみて下さい」と応えられたと、講演されました。

RCの奉仕活動が、地域での社会奉仕と、世界での社会奉仕の必要性を再確認しました。今回は、御来場時には立礼席を設け点前を、開会までの会場では、声楽、フルート、ピアノのアンサンブルを楽しんで頂きました。

最後に横山G、川西G補佐の御支援、パストガバナー、地区委員の方々を始め、ロータリアンの方々の出席に感謝致します。